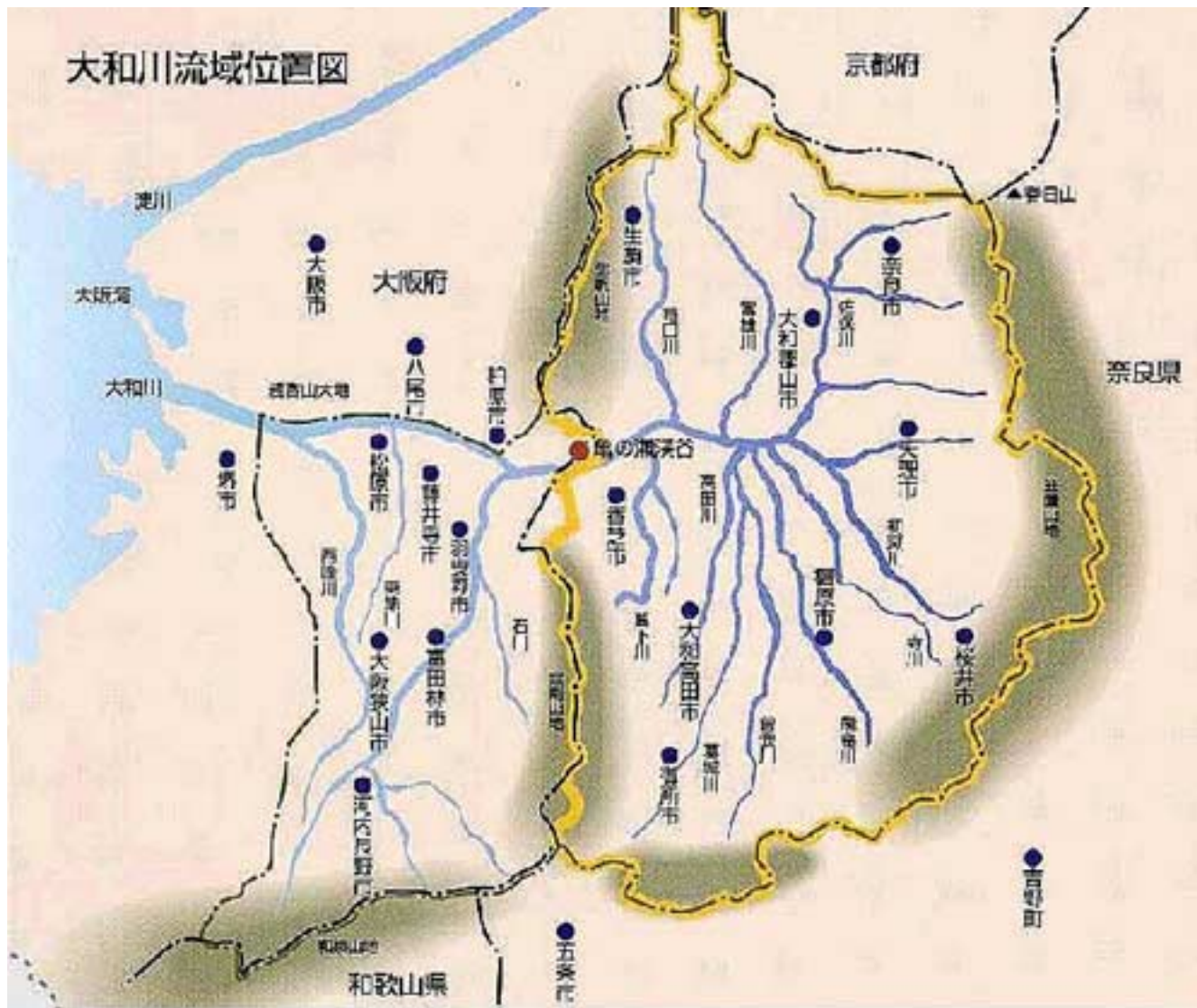


総合治水における取り組み(大和川)

総合治水の概要(大和川流域図)

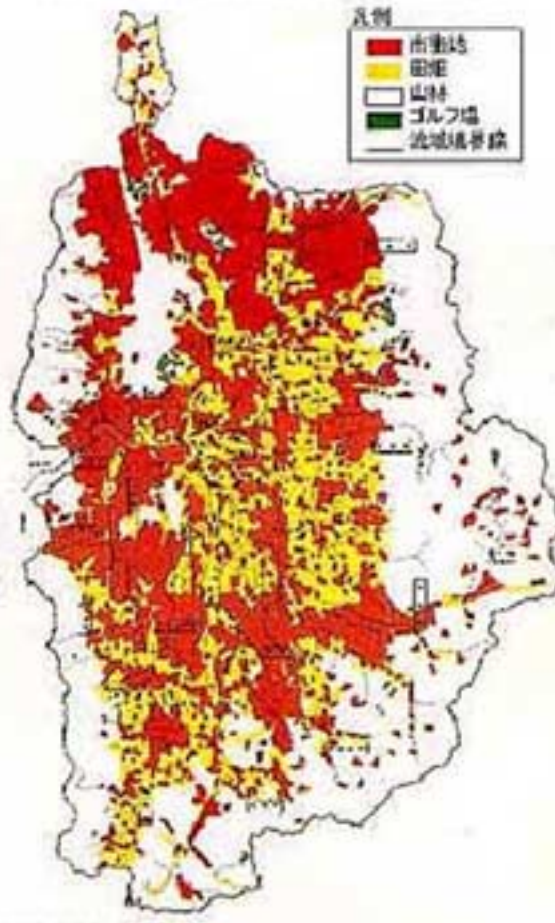


総合治水の概要 (流域開発の状況)

大和川流域土地利用状況図 (昭和54年)



大和川流域土地利用状況図 (将来)



S 3 7



H 6



上図：市街地の変遷

右上図：S 3 7 奈良市登美ヶ丘付近

右下図：H 6 奈良市登美ヶ丘付近

総合治水の概要(昭和57年洪水)



王寺町周辺(昭和57年8月)

昭和57年8月

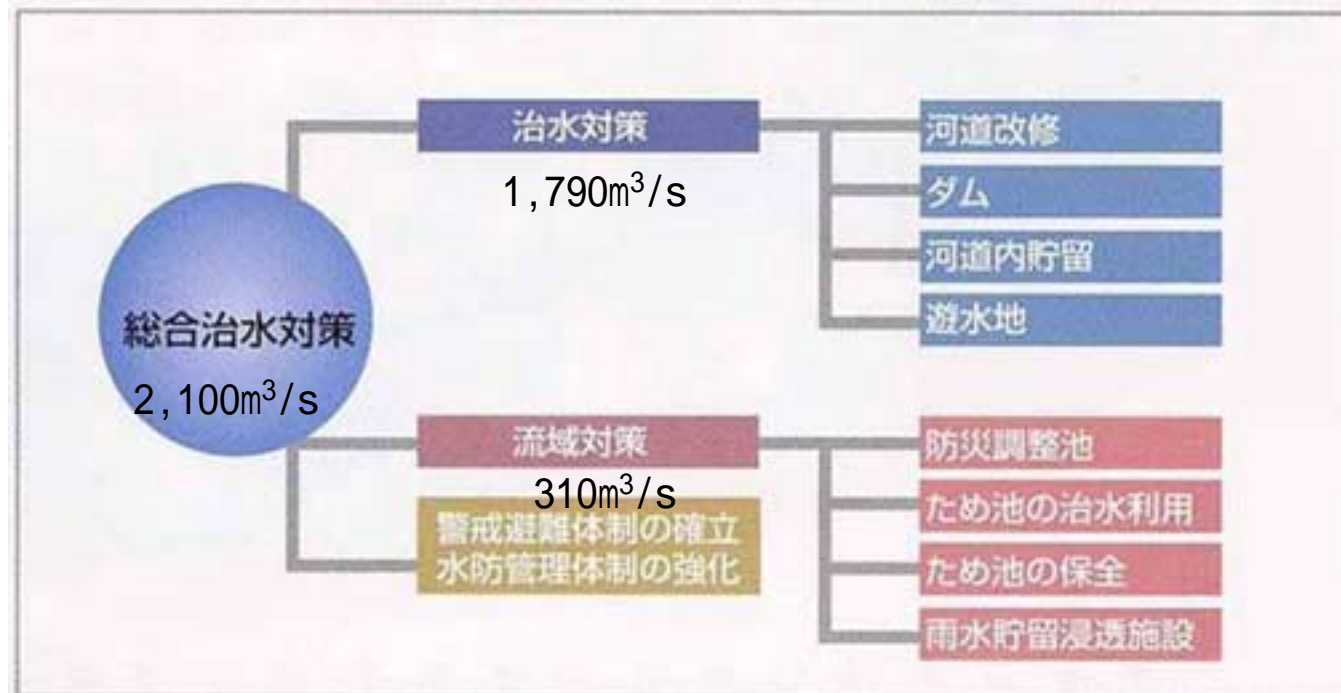
台風10号と台風9号崩れの低気圧による出水



王寺町久度(昭和57年8月) 写真提供:奈良新聞社

総合治水の概要(大和川)

流域整備計画	治水対策	長期的な治水計画は、大和川水系工事实施基本計画に基づいて整備を進めていきますが、当面の目標として、大和川では昭和57年8月降雨を対象とし、支川は約10年に1回程度の降雨を対象として改修するとともに、ダム等の建設を促進していきます。
	流域対策	①現在有している保水機能を積極的に保全していきます。 ②適正な土地利用を図っていきます。 以上の他、積極的に治水容量を確保していきます。



総合治水対策の経緯

昭和53年	総合治水対策の調査開始
昭和56年	大和川総合治水対策協議会議準備会の設立
昭和57年	総合治水対策特定河川指定（大和川北部）
昭和57年8月	台風7号及び低気圧による集中豪雨
昭和58年2月	大和川流域総合治水対策協議会設立
昭和60年7月	大和川流域整備計画策定



平成14年4月までに、16回の協議会、15回の幹事会、17回の専門委員会を開催

総合治水対策の取り組み(大和川)

背景

- ・ 度重なる浸水被害（昭和57年8月集中豪雨）
- ・ 急激な流域開発の進展

行政間の連携

- ・ 協議会等における調整
- ・ 補助事業制度等の活用

住民の方々への広報・周知

- ・ 浸水実績図、浸水想定区域図の公表
- ・ 広報誌、広報イベント、HP等による周知